

第28回「胃と腸」購読の諸先生全国大会 松江で盛況裡に開催

恒例の「胃と腸」購読の諸先生全国大会が第30回日本消化器内視鏡学会総会2日目の10月4日夜、松江市の松江東急インで開かれた。例会世話人の古賀成昌氏（鳥取大学・第1外科）の挨拶のあと、早期胃癌研究会代表の竹本忠良氏（山口大学・第1内科）が“作ってはこわし、こわしては作る過程を経てきたのが早期胃癌診断の歴史だ。辛辣なコメントは光栄と思い、活発な会になるように期待する”と述べたあと、福本四郎氏（島根医科大学・第2内科）・貝原信明氏（鳥取大学・第1外科）両氏の司会のもとに症例が供覧された。今回は①島根医科大学・第2内科、②島根県立中央病院、③島根医科大学・第2内科の3例が、X線・内視鏡・病理の各面から詳細に検討され、300名を集めた会場は盛況を博した。



会場となった松江東急イン（上）と討論の様様（下）